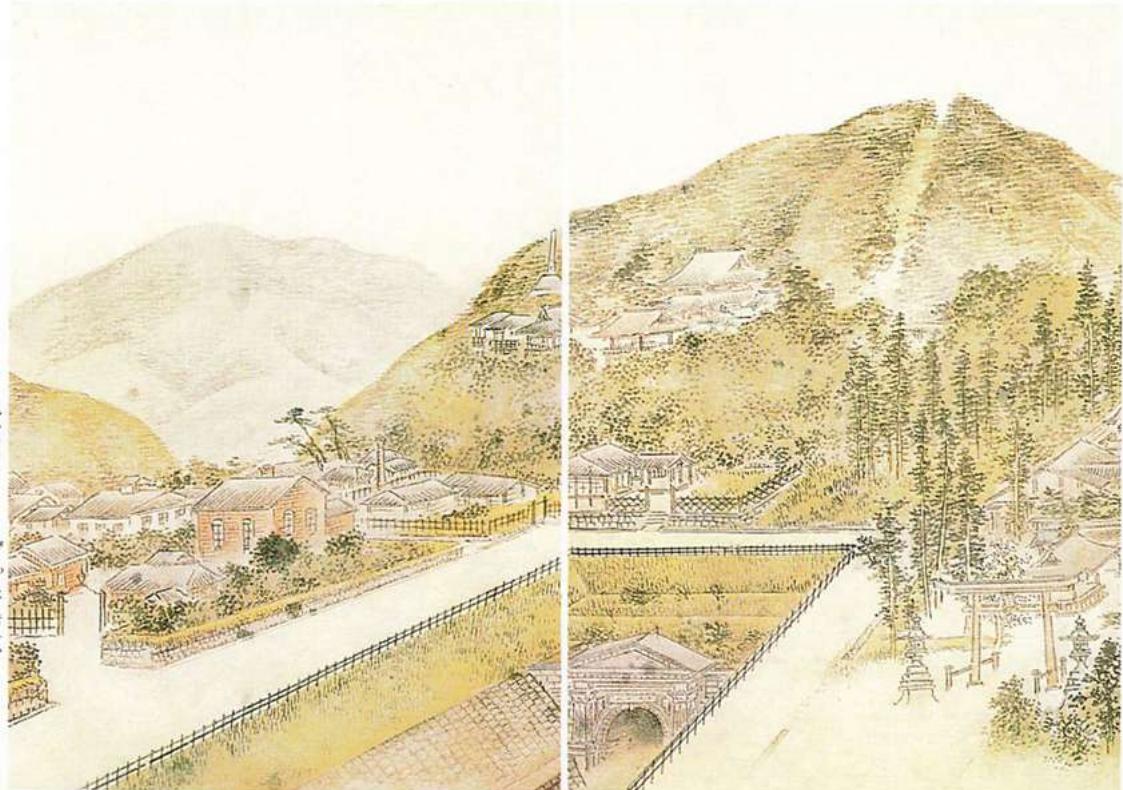


1 カケガエのない生	2 度とない人生だから	城村真民	2
2 目標をもつて	「イ」の字が映った	高橋健次郎	6
3 一筋の道	レッスンから出発	森下早子	14
4 働く喜び	栄光の影に	田中桂	18
5 自然と人間	エネルギー母ちゃん	今井美沙子	24
6 相手の立場	北八ヶ岳		28
7 恩師の一言	自覚をもつて		31
8 窓	恩師の一言	鈴木慶二	34
9 窓	相手の立場		39
10 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	46
11 窓	自覚をもつて		52
12 窓	恩師の一言	鈴木慶二	54
13 窓	相手の立場		58
14 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	62
15 窓	自覚をもつて		66
16 窓	恩師の一言	鈴木慶二	70
17 窓	相手の立場		74
18 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	78
19 窓	自覚をもつて		82
20 窓	恩師の一言	鈴木慶二	86
21 窓	相手の立場		90
22 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	94
23 窓	自覚をもつて		98
24 窓	恩師の一言	鈴木慶二	102
25 窓	相手の立場		106
26 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	110
27 窓	自覚をもつて		114
28 窓	恩師の一言	鈴木慶二	118
29 窓	相手の立場		122
30 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	126
31 窓	自覚をもつて		130
32 窓	恩師の一言	鈴木慶二	134
33 窓	相手の立場		138
34 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	142
35 窓	自覚をもつて		146
36 窓	恩師の一言	鈴木慶二	150
37 窓	相手の立場		154
38 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	158
39 窓	自覚をもつて		162
40 窓	恩師の一言	鈴木慶二	166
41 窓	相手の立場		170
42 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	174
43 窓	自覚をもつて		178
44 窓	恩師の一言	鈴木慶二	182
45 窓	相手の立場		186
46 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	190
47 窓	自覚をもつて		194
48 窓	恩師の一言	鈴木慶二	198
49 窓	相手の立場		202
50 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	206
51 窓	自覚をもつて		210
52 窓	恩師の一言	鈴木慶二	214
53 窓	相手の立場		218
54 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	222
55 窓	自覚をもつて		226
56 窓	恩師の一言	鈴木慶二	230
57 窓	相手の立場		234
58 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	238
59 窓	自覚をもつて		242
60 窓	恩師の一言	鈴木慶二	246
61 窓	相手の立場		250
62 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	254
63 窓	自覚をもつて		258
64 窓	恩師の一言	鈴木慶二	262
65 窓	相手の立場		266
66 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	270
67 窓	自覚をもつて		274
68 窓	恩師の一言	鈴木慶二	278
69 窓	相手の立場		282
70 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	286
71 窓	自覚をもつて		290
72 窓	恩師の一言	鈴木慶二	294
73 窓	相手の立場		298
74 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	302
75 窓	自覚をもつて		306
76 窓	恩師の一言	鈴木慶二	310
77 窓	相手の立場		314
78 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	318
79 窓	自覚をもつて		322
80 窓	恩師の一言	鈴木慶二	326
81 窓	相手の立場		330
82 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	334
83 窓	自覚をもつて		338
84 窓	恩師の一言	鈴木慶二	342
85 窓	相手の立場		346
86 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	350
87 窓	自覚をもつて		354
88 窓	恩師の一言	鈴木慶二	358
89 窓	相手の立場		362
90 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	366
91 窓	自覚をもつて		370
92 窓	恩師の一言	鈴木慶二	374
93 窓	相手の立場		378
94 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	382
95 窓	自覚をもつて		386
96 窓	恩師の一言	鈴木慶二	390
97 窓	相手の立場		394
98 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	398
99 窓	自覚をもつて		402
100 窓	恩師の一言	鈴木慶二	406
101 窓	相手の立場		410
102 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	414
103 窓	自覚をもつて		418
104 窓	恩師の一言	鈴木慶二	422
105 窓	相手の立場		426
106 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	430
107 窓	自覚をもつて		434
108 窓	恩師の一言	鈴木慶二	438
109 窓	相手の立場		442
110 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	446
111 窓	自覚をもつて		450
112 窓	恩師の一言	鈴木慶二	454
113 窓	相手の立場		458
114 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	462
115 窓	自覚をもつて		466
116 窓	恩師の一言	鈴木慶二	470
117 窓	相手の立場		474
118 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	478
119 窓	自覚をもつて		482
120 窓	恩師の一言	鈴木慶二	486
121 窓	相手の立場		490
122 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	494
123 窓	自覚をもつて		498
124 窓	恩師の一言	鈴木慶二	502
125 窓	相手の立場		506
126 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	510
127 窓	自覚をもつて		514
128 窓	恩師の一言	鈴木慶二	518
129 窓	相手の立場		522
130 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	526
131 窓	自覚をもつて		530
132 窓	恩師の一言	鈴木慶二	534
133 窓	相手の立場		538
134 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	542
135 窓	自覚をもつて		546
136 窓	恩師の一言	鈴木慶二	550
137 窓	相手の立場		554
138 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	558
139 窓	自覚をもつて		562
140 窓	恩師の一言	鈴木慶二	566
141 窓	相手の立場		570
142 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	574
143 窓	自覚をもつて		578
144 窓	恩師の一言	鈴木慶二	582
145 窓	相手の立場		586
146 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	590
147 窓	自覚をもつて		594
148 窓	恩師の一言	鈴木慶二	598
149 窓	相手の立場		602
150 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	606
151 窓	自覚をもつて		610
152 窓	恩師の一言	鈴木慶二	614
153 窓	相手の立場		618
154 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	622
155 窓	自覚をもつて		626
156 窓	恩師の一言	鈴木慶二	630
157 窓	相手の立場		634
158 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	638
159 窓	自覚をもつて		642
160 窓	恩師の一言	鈴木慶二	646
161 窓	相手の立場		650
162 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	654
163 窓	自覚をもつて		658
164 窓	恩師の一言	鈴木慶二	662
165 窓	相手の立場		666
166 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	670
167 窓	自覚をもつて		674
168 窓	恩師の一言	鈴木慶二	678
169 窓	相手の立場		682
170 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	686
171 窓	自覚をもつて		690
172 窓	恩師の一言	鈴木慶二	694
173 窓	相手の立場		698
174 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	702
175 窓	自覚をもつて		706
176 窓	恩師の一言	鈴木慶二	710
177 窓	相手の立場		714
178 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	718
179 窓	自覚をもつて		722
180 窓	恩師の一言	鈴木慶二	726
181 窓	相手の立場		730
182 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	734
183 窓	自覚をもつて		738
184 窓	恩師の一言	鈴木慶二	742
185 窓	相手の立場		746
186 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	750
187 窓	自覚をもつて		754
188 窓	恩師の一言	鈴木慶二	758
189 窓	相手の立場		762
190 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	766
191 窓	自覚をもつて		770
192 窓	恩師の一言	鈴木慶二	774
193 窓	相手の立場		778
194 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	782
195 窓	自覚をもつて		786
196 窓	恩師の一言	鈴木慶二	790
197 窓	相手の立場		794
198 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	798
199 窓	自覚をもつて		802
200 窓	恩師の一言	鈴木慶二	806
201 窓	相手の立場		810
202 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	814
203 窓	自覚をもつて		818
204 窓	恩師の一言	鈴木慶二	822
205 窓	相手の立場		826
206 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	830
207 窓	自覚をもつて		834
208 窓	恩師の一言	鈴木慶二	838
209 窓	相手の立場		842
210 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	846
211 窓	自覚をもつて		850
212 窓	恩師の一言	鈴木慶二	854
213 窓	相手の立場		858
214 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	862
215 窓	自覚をもつて		866
216 窓	恩師の一言	鈴木慶二	870
217 窓	相手の立場		874
218 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	878
219 窓	自覚をもつて		882
220 窓	恩師の一言	鈴木慶二	886
221 窓	相手の立場		890
222 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	894
223 窓	自覚をもつて		898
224 窓	恩師の一言	鈴木慶二	902
225 窓	相手の立場		906
226 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	910
227 窓	自覚をもつて		914
228 窓	恩師の一言	鈴木慶二	918
229 窓	相手の立場		922
230 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	926
231 窓	自覚をもつて		930
232 窓	恩師の一言	鈴木慶二	934
233 窓	相手の立場		938
234 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	942
235 窓	自覚をもつて		946
236 窓	恩師の一言	鈴木慶二	950
237 窓	相手の立場		954
238 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	958
239 窓	自覚をもつて		962
240 窓	恩師の一言	鈴木慶二	966
241 窓	相手の立場		970
242 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	974
243 窓	自覚をもつて		978
244 窓	恩師の一言	鈴木慶二	982
245 窓	相手の立場		986
246 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	990
247 窓	自覚をもつて		994
248 窓	恩師の一言	鈴木慶二	998
249 窓	相手の立場		1002
250 窓	言葉のキヤウチホール	西尾大	1006

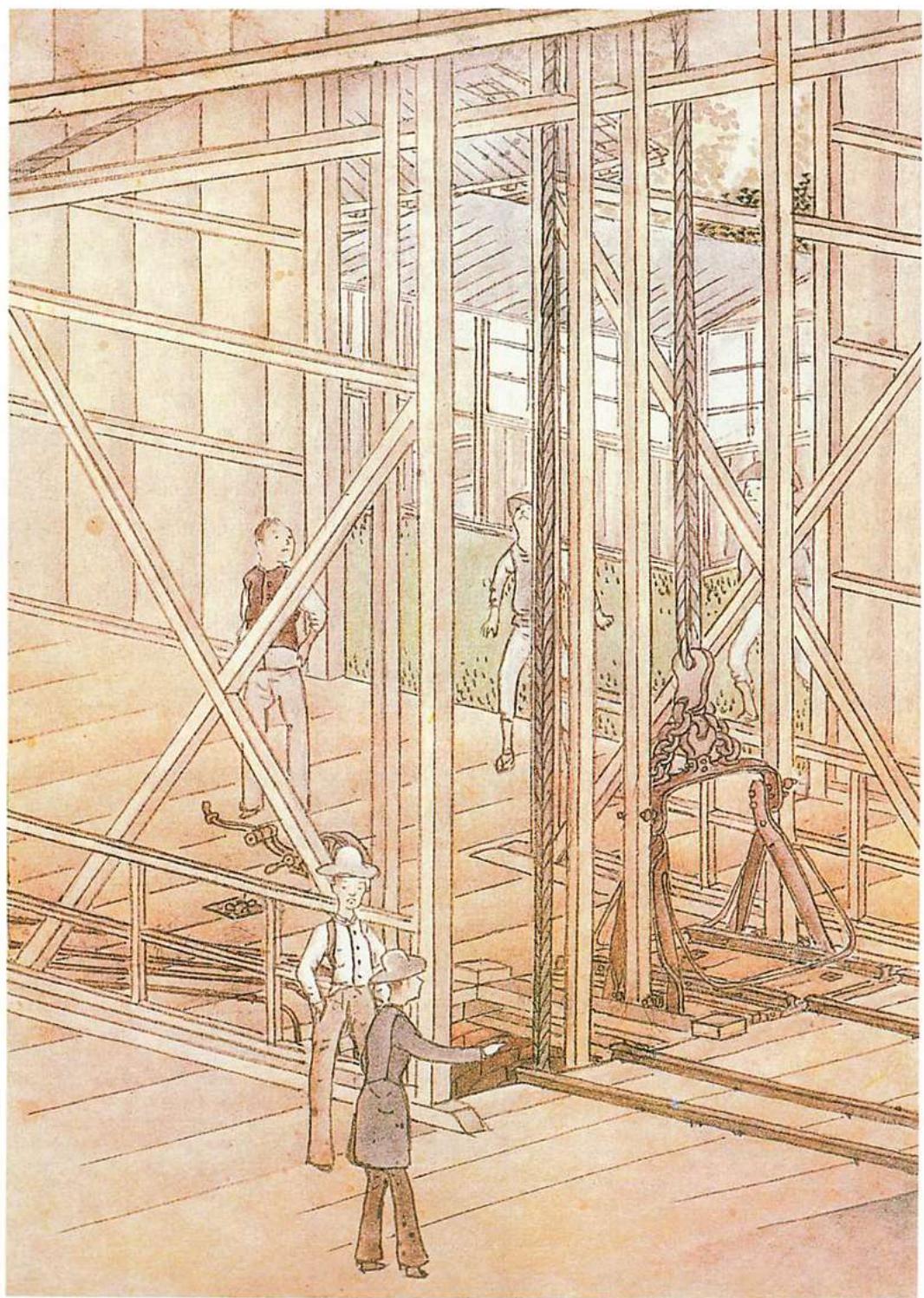
(絵、
河田小龍。
琵琶湖疏水図誌より)



完成した当時の長等山トンネル入口

シャフトは着工して八か月になる。掘削作業より排水にてこずり、一時は絶望の余り断念を考えたほどの難工事だった。

「湧水とのたたかい」
(本文83ページ)



シャフト降り口

湧水とのたたかい

田村 喜子

一般に「疏水」と呼びならわされている琵琶湖疏水は、明治十八年（一八八五年）八月着工され、同二十三年（一八九〇年）四月完成した。以来九十余年、琵琶湖の水は京都に流れ続けている。この水は、日本最初の水力発電を行い、またかんがい用水、運河としても利用された。現在もなお、京都市の飲料水、生活水はほとんどがこの水によつてまかなわれている。いわば京都市民にとっての「命の水」なのである。



5

工部大学
現在の東京大学工学部。

田辺朔郎

（一八六一—一九四四）
土木技術者。琵琶湖疏水工事のほか、関門トンネル

の測量など多くの土木事業にたずさわった。

である。

底位
シャフトを掘る予定の深さ。

こうして始まつたトンネル工事は、はげしい湧水のために難行した。朔郎たちは外国製のポンプを使い、あらゆる工夫をこらして湧水とたたかった。

15

10

トンネル。

「主任さん、もう少しで底位に届きませ。」

ポンプ主任の大川米蔵が顔をほころばせて報告した。

四月上旬、山裾の桜が咲き誇っていた。

山縣内務卿（山縣有朋）
（一八三八—一九二二）

内務卿は内務省の長官。

シャフト

たて穴。予定の深さまで

掘つたら、左右に掘り進む。

トンキーボンブ、スペシャルボンブ、スベシャルボンブ

イギリス製蒸気ボンブ。

トンキーボンブは小型の、
スペシャルボンブは大型の
もの。

「そうかい。ご苦労だつたね。排水はうまくいってるんだな。」

「それがねえ、底へ行くほど湧水が多くなりますのや。」

「水脈が集まってるんだな。」

「そらしおす。二個のトンキーボンブでは追つきましたへん。」

「大型のスペシャルボンブはまだ届かないのかい。」

「スペシャルボンブも英國へ注文して、取り寄せているところだ。」

「それなら昨日届きましたで。」

「そうかい。それじゃシャフトが底位に達し次第、取り付けにかかる。」

「その日が四月十七日だった。」



田辺朝郎博士の銅像 (京都市東山区)

湧水くみ上げ用の大おけに乗つて、大川がシャフトの底に降りた。続いてポンプ係助手の西村が降りた。それからスペシャルボンブがゆっくりと下がられた。

その間にも、ドンキー・ポンプがくみ上げる水が排水管から吐き出されている。

「どうだい、うまくいきそうかい。」

朔郎は五十メートルの底に叫んだ。

「おーう、もうちよつとで終わりまーす。」

返事が周囲の壁に反響して、地上に上がってきた。

やがて、

「終わったぞう。」

と明るい声が伝わった。

スペシャルポンプにつないだ太いホースから、大量の水を放出し始めた。

「ようし、ドンキー・ポンプを外せえ。」

ポンプ係が大おけに乗つて、ドンキー・ポンプを据え付けた所まで降りていった。

ドンキー・ポンプの排水管から水が止まつた。

作業員たちが取り外したドンキー・ポンプを引き揚げにかかつた。

その時作業員の一人が大声をあげた。

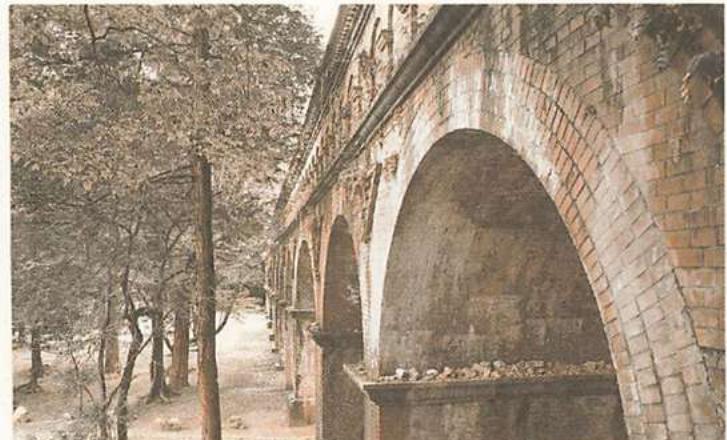
「主任さん、スペシャルポンプの排水管から水が出て来まへんッ。」

「どうしたんだ。止まつちやつたのかい。」

「へえ、急に止まつてしましました。」

朔郎はシャフトの口から怒鳴った。

「大川君、スペシャルポンプの調子がおかしいッ。」



大川の引きつった声が返ってきた。

「ポンプを引き揚げてくれッ。ぐあいが悪いんや。」

二台のポンプが、一台はすでに引き揚げ、一台が故障した。水は容赦なくわき上がりてくる。
あつという間もなく、スペシャルポンプは水中に没した。

「マイタマイタを回せッ。」

マイタマイタ
大きなおけを人力で引き
上げて水をくみ出す仕組み。

朔郎は叫んだ。

「苦心の涙雨と降る くめばくむほどわいてくる』

『ヨーヨー巻いた ヨヤ巻いた』

作業員のだみ声が地をはつた。

「もう一度ドンキーポンプを取り付けろ。」

揚げたばかりのドンキーポンプが元の位置に降ろされた。

大川は西村に手伝わせて、スペシャルポンプを水中から引き揚げ、修理を急いだ。

「大川君、調子はどうだッ。」

朔郎は懸命の声を張りあげた。

返事がない。

「大川君ッ。」

朔郎はおけに飛び移った。そして怒鳴った。

「降ろしてくれ。」

つるべを伝つてシャフトを降下する朔郎の上に、滝のように水が降りかかつた。



カンテラの薄明りを頼りに、大川がポンプを修理している。その上にも水は滝のように落ちる。

「大川君ッ。」

「主任さん、こんな危ないとこへ来たらいかん。」

「わたしに危なければ、おまえにも危ないんだ。」

「わしはポンプ主任や。ポンプのことは任しといてくれ。」

「しかし……。」

「来たらあかん。」

大川の声には「総号令」の朔郎でさえ踏み入れさせない威厳があつた。

朔郎はそんな大川を信頼しているのだ。外国製のポンプを改良して使いやすくしたのも大川だつた。大川ほど彼のポストに責任をもつてゐる男はいないと、朔郎は思つてゐる。

朔郎は祈るような気持ちをそこに残して、シャフト口へ上つた。

全身を水に浸してポンプと取り組んでいる大川を、朔郎はシャフトの縁に立ちつくして目をこらした。それほど長い時間ではなかつたが、朔郎には一昼夜もたつたかと思えるほど長く感じられた。

ポンプの据え付けが終わつたと合図したのは西村の声だつた。

機関がうなり、バルブが開かれた。

その途端、排水ホースが身をくねらせ、どおつと水を吐き出した。

「直つたぞお。」

「でかしたあ。」

地上ではだれかがまわす手を取り合い、歓声が上がった。
シャフトを浸していった水かさがみるみる引いていく。

西村が上ってきた。

大川も上ってきた。その頭から、衣服から糸を引いて水が垂れている。くちびるが紫に変色し、
目が血走っている。

朔郎は駆け寄った。

「大川君、ありがとう。もう大丈夫だ。」

大川は何か言おうとするように口を開けたが、そのままよろけるように飯場へ引き揚げていった。
その惟悴しきつた後ろ姿に、朔郎は胸をつかれた。

シャフトはついに底位に達した。

「明日からシャフト下底を東西に分岐して、隧道掘削に着手する。今夜はシャフト完成祝いだ。
大いに飲んでくれ。」

朔郎の言葉に坑内作業員たちがわいた。
渓谷に早い夕闇が迫っていた。

(新潮社『京都インクライン物語』による)

考え方

- 1 水浸しの大川に目をこらす朔郎は、シャフト口の縁でどんなことを考えていたのでしょうか。

- 2 郷土のために働いた人々の話を聞いたり、読んだりしたことについて考えてみましょう。